

第2回 常呂川森林づくり塾を開講

9月28日(土)に今年度第2回目の森林づくり塾を開催しました。当日は秋とは思えないくらい暖かい日でしたが、トンボも飛び交っており、すでにオホーツクの森でも秋を感じる季節となっていました。

今回参加者は9人で、最初に座学を行い、常呂川森林ふれあい推進センターの歴史を絡めて、国有林の業務を理解して戴きました。その中では、参加者から治山ダムについて質問があり、自然再生事業と絡め、河川へのダム設置の必要性に興味深いことが判り、今後の題材として考慮すべきかと思いました。



座学終了後、今回の予定作業である植樹のためのカミネッコン組み立て及び苗木の移植を行いました。カミネッコンは再生段ボール紙で鉢として組み立てるものであり、1年中いつでも植樹体験が出来る優れたものです。

完成後は、山取りした苗木がある苗畑で、カミネッコンに移植してもらいました。

午後からはオホーツクの森にある自然再生モデル林に移動し、第1回目の森林づくり塾で地拵えを行った場所で、植樹及びパオパオシートによる囲い設置を行いました。



今回で、今年度予定した森林づくり塾を終了しましたが、参加者からは、また、機会があればぜひ参加したいとの感想も戴きました。

今年度は森林づくり塾に初めて参加して戴いた方もおり、初心に返った森林づくり塾としました。今後も、創意工夫しながら森林づくりに理解・協力戴けるプログラム等を提供していきたいと思ひます。